

## 働くということ ～第3回チャレンジ講演会～

氷上西高校では、キャリア教育・グローバル教育の一環として、さまざまな分野の第一線で活躍されている丹波ゆかりの方々をお招きし、チャレンジ講演会を実施しています。

2月21日（水）に実施した第3回では、**鴻谷佳彦（こうたによしひこ）氏**を講師としてお招きし、「働くということ ～人生を大きく変えた修業時代～」をテーマにお話をお聞きしました。

鴻谷さんは、青垣町出身で、宿泊施設の運営や鹿肉料理専門店「無鹿」の経営をされており、鹿肉や地元野菜を使用した加工品の開発や料理教室の開催等、鹿肉の普及に向けた活動もされています。また、農林水産省認定「地産地消の仕事人」でもあり、お店はミシュランガイド2016に掲載されるなど、多方面で活躍中です。



講演では、勉強が嫌いだった高校時代のこと、卒業後に大学に行くか好きだった料理の道に進むか悩んだ末に、料亭に勤めて料理の世界で修業することに決めたこと、仕事で自分を認めてもらうために必要だとわかったことなど、ご自身が修業時代の経験から学ばれたことを、具体的に、わかりやすい言葉を使って高校生にお話していただきました。体験と実践に裏付けられた鴻谷さんのお話は、生徒たちによく伝わりました。



鴻谷さんのお話の中から、次のような言葉が心に残りました。

- ・ 仕事をしても、進学をしても「苦勞・努力は一緒」。楽なことはない。
- ・ 仕事は信用が一番大切。信用がないと仕事をやらせてもらえない。信用を得るためには姿勢が大切。姿勢を認められることが大切。
- ・ どの分野でも成果を出すためには時間がかかる。続けることが大切である。
- ・ 続けることで楽しさが出てくる。最初は苦しいことも続けることで楽しくなる。
- ・ 社会に出たら苦手は致命傷。苦手で失敗する人が多い。やりたくない事がどれだけできるのか。苦手に挑戦することが大事。
- ・ 人生無駄なことは一つもない。もっと学校の勉強をしておけばよかった。
- ・ 努力と成功は正比例しない。伸びがゆるやかになる、うまくいかない、スランプにおちいる、やっても面白くないときが誰にでも来る。
- ・ 継続するコツは、「できるイメージ」を持って、良いだし（ダメだしの反対）をする。
- ・ 成功するまで継続すれば失敗しない。

（校長 高橋信之）